

卓上傾斜切削機

深さ方向分析に秘策

かんたん分析準備



● 切削面上に6～300倍拡大の深さ情報

塗層膜、フィルム等の積層試料の成分分析にて 深さ情報を知るための傾斜切削面を作製することが可能です。

● 積層材料の分析、劣化層の定量評価に最適

切削面は 0.2° ～ 10° の設定範囲内で角度を付けて切削できますので 積層の厚みに合わせて傾斜切削面を作製できます。

● ダイヤバイトの採用で硬い試料も切削が可能

切削には単結晶ダイヤモンドを使用していますので 精度の良い切削面を出せることと金属面等の硬い試料にも対応することが可能です。材質に合わせて切削角度も調整頂けます。

● 簡単な操作性による分析試料作製時間の短縮

試料ステージにセッティングした試料を バイトステージ移動だけで切削できます。単純な操作手順でどなたでも同じ試料を作製することが可能です。(手動)

● 持ち運び可能なコンパクトサイズ

275mm(W) × 205mm(D) × 200mm(H) 7kg なので省スペースで使用可能なおうえ移動も簡単です。

仕様

切削刃 : 単結晶ダイヤモンド ・ 超硬バイト

試料寸法 : 70 × 70 (mm)以下(厚み10mm以下)

適用材料 : 樹脂、複合材、プラスチック他

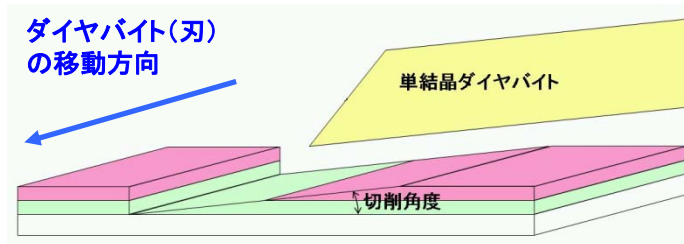
本体寸法 : 275(W) × 205(D) × 200(H)mm

重量 : 7 (kg)

切削原理

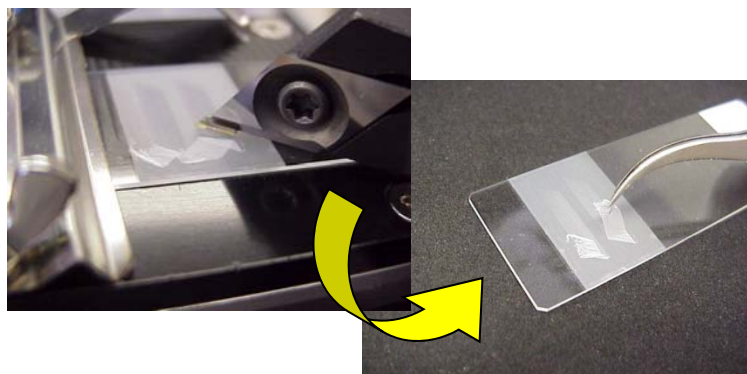
傾斜角度 $0.2\sim 10^\circ$
理論拡大率 286~6倍

積層の厚みに合わせて
傾斜切削面を作製します。

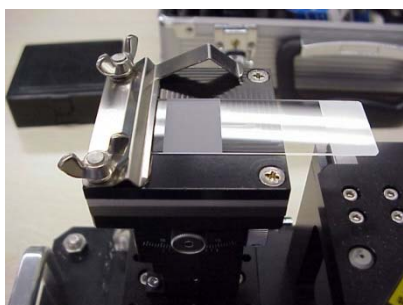


<塗膜切削例> <薄膜切削例>

材質によっては、切片の採取も可能。
透過分析及び熱分析等に有効な
サンプルとなります。



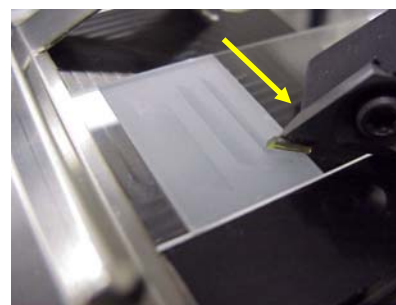
切削手順



① シート、フィルム状のサンプルは
スライドガラス等に貼り付けて
ステージへ設置します。



② 刃は水平状態でステージを傾けます。
(傾斜角度の設定)



③ 刃を移動させて切削します。